

# 1 埼玉県内の現況の整理

「埼玉県における地域公共交通の基本方針」の参考資料として、埼玉県内の現況を整理します。当資料で用いている地域区分は、本編同様に下記の 3 ゾーン及び 10 地域により整理しています。

## 3ゾーンと10地域区分



図 埼玉県の地域区分

### 地域区分と市町村の対応

3 区分	10 区分	市町村
県南ゾーン	さいたま	さいたま市
	南部	川口市、蕨市、戸田市
	南西部	朝霞市、志木市、和光市、新座市、富士見市、ふじみ野市、三芳町
	東部	春日部市、草加市、越谷市、八潮市、三郷市、吉川市、松伏町
圏央道ゾーン	県央	鴻巣市、上尾市、桶川市、北本市、伊奈町
	川越比企	川越市、東松山市、坂戸市、鶴ヶ島市、毛呂山町、越生町、滑川町、嵐山町、小川町、川島町、吉見町、鳩山町、ときがわ町、東秩父村
	西部	所沢市、飯能市、狭山市、入間市、日高市
	利根	行田市、加須市、羽生市、久喜市、蓮田市、幸手市、白岡市、宮代町、杉戸町
県北ゾーン	北部	熊谷市、本庄市、深谷市、美里町、神川町、上里町、寄居町
	秩父	秩父市、横瀬町、皆野町、長瀬町、小鹿野町

## (1) 現況人口(2020年)と将来推計人口(2050年)のゾーン別比較

2020年から2050年にかけて、どのエリアでも人口は減少する推計であるが、エリアごとにその減少数や減少率は異なっており、最も人口の多い県南ゾーンは減少数・減少率ともに最も小さく、現況からは2%程度の減少にとどまる予測です。

一方で、圏央道ゾーン・県北ゾーンでは現況から大きく減少する予測となっています。

年齢3区分の構成比をみると、どのエリアでも0~14歳・15~64歳の割合が減少し、65歳以上の高齢者の割合が増加する予測です。既に高齢化率が30%を超えている圏央道ゾーン・県北ゾーンでは、2050年には40%に到達する予測です。

図 県内3地域区分の現況と将来の人口比較(実数)

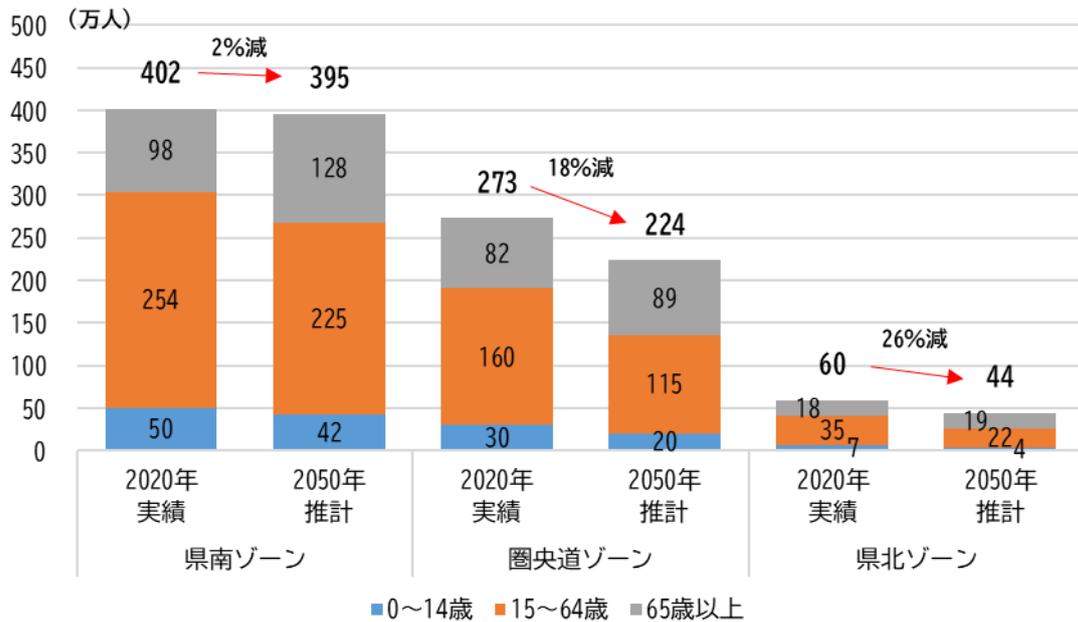
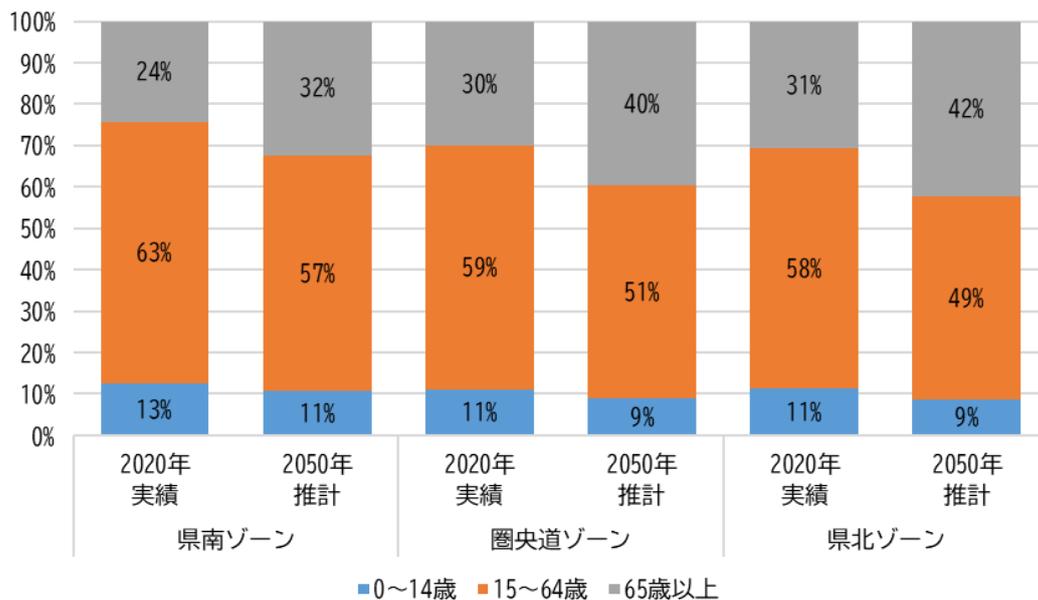


図 県内3地域区分の現況と将来の人口比較(構成比)



出典：2020年までの実績値は国勢調査、2050年の推計値は国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口

## (2) 高齢化の状況

埼玉県の高齢化率（65歳以上の人口の割合）は、2020年(R2)で27.0%となっており、全国平均の28.6%よりも1.6ポイント低くなっています。高齢者の数は198万人で、全国で4番目に多くなっています。

表 高齢化の状況（2020年）

（高齢化率）

順位	都道府県	総数	65歳以上	高齢化率
1	秋田県	959,502	359,687	37.5%
2	高知県	691,527	245,359	35.5%
3	山口県	1,342,059	464,633	34.6%
4	島根県	671,126	229,554	34.2%
5	徳島県	719,559	245,983	34.2%
：	：	：	：	：
42	埼玉県	7,344,765	1,983,776	27.0%
-	全国	126,146,099	36,026,632	28.6%

（高齢者数）

順位	都道府県	総数	65歳以上
1	東京都	14,047,594	3,194,751
2	神奈川県	9,237,337	2,360,820
3	大阪府	8,837,685	2,441,984
4	愛知県	7,542,415	1,907,392
5	埼玉県	7,344,765	1,983,776
6	千葉県	6,284,480	1,733,870
7	兵庫県	5,465,002	1,601,399
-	全国	126,146,099	36,026,632

出典：令和2年国勢調査

埼玉県は2015年(H27)から2020年(R2)の高齢者の増加率は10%で、全国で3番目に高くなっています。

表 高齢者の増加の状況（2015年→2020年）

順位	都道府県	H27	R02	増加数	増加率
1	沖縄県	281,942	331,404	49,462	17.5%
2	栃木県	509,751	562,216	52,465	10.3%
3	埼玉県	1,803,204	1,983,776	180,572	10.0%
4	茨城県	776,787	850,733	73,946	9.5%
5	滋賀県	340,107	371,668	31,561	9.3%
6	福岡県	1,317,547	1,432,779	115,232	8.7%
7	宮城県	595,994	647,640	51,646	8.7%
-	全国	33,790,006	36,026,632	2,236,626	6.6%

出典：平成27年、令和2年国勢調査

### (3) 夜間人口

埼玉県内の市町村別の夜間人口の増減をみると、県の南部は増加している市町村が多く、北部は人口が減少している市町村が多くなっています。

埼玉県内10区分では、さいたま、南部、南西部、東部の人口が増加し、それ以外の地域では人口が減少しています。

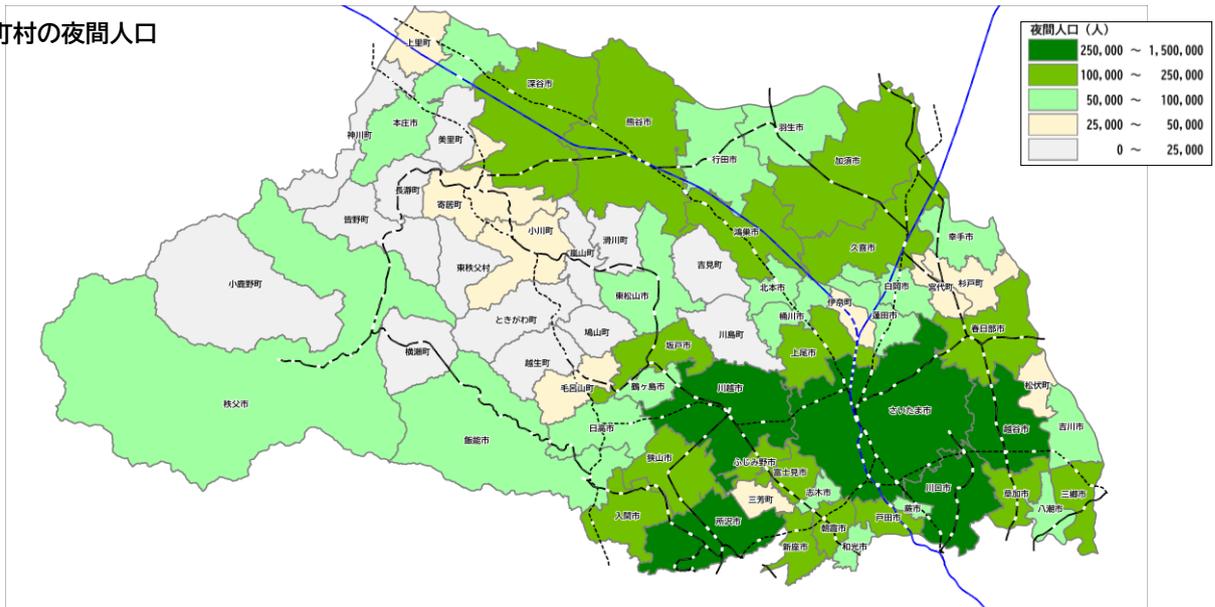
埼玉県内3区分では、県南ゾーンの人口が増加し、圏央道ゾーンと県北ゾーンの人口が減少しています。

県内10地域・3地域区分の夜間人口

10地域区分	H27人口 (万人)	R02人口 (万人)	増減数 (万人)	3地域区分	H27人口 (万人)	R02人口 (万人)	増減数 (万人)
さいたま	126.4	132.4	6.0	県南 ゾーン	390.0	401.9	11.9
南部	78.7	80.9	2.3				
南西部	70.9	73.0	2.1				
東部	114.0	115.5	1.5				
県央	52.9	52.9	-0.0	圏央道 ゾーン	275.5	272.9	-2.5
川越比企	80.0	79.4	-0.6				
西部	77.8	77.2	-0.7				
利根	64.7	63.5	-1.2				
北部	51.0	50.1	-0.9	県北 ゾーン	61.2	59.6	-1.6
秩父	10.2	9.5	-0.7				
合計	726.7	734.5	7.8	合計	726.7	734.5	7.8

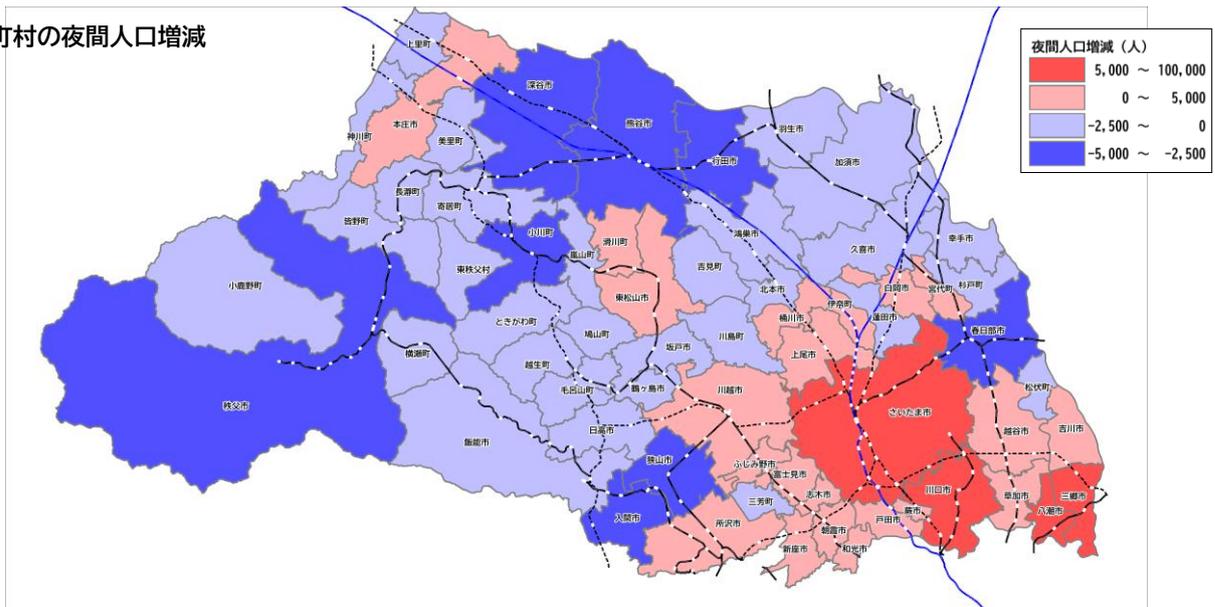
図 埼玉県内の夜間人口

市町村の夜間人口



出典：令和2年国勢調査

市町村の夜間人口増減



出典：平成27年、令和2年国勢調査

#### (4) 夜間人口密度

埼玉県内の市町村別の夜間人口密度の増減をみると、県の南部は増加している市町村が多く、北部は減少している市町村が多くなっています。

埼玉県内 10 地域区分では、さいたま、南部、南西部、東部の人口が増加し、そのほかの地域の人口密度は減少しています。

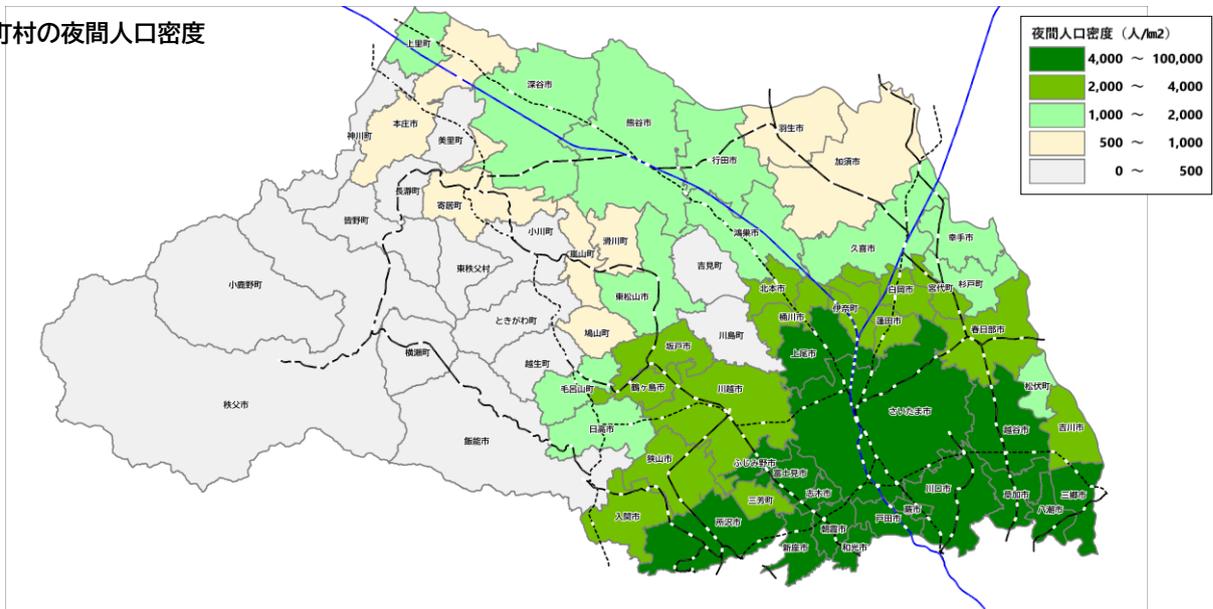
埼玉県内 3 地域区分では、県南ゾーンの人口密度が増加し、圏央道ゾーンと県北ゾーンの人口密度は減少しています。

県内10地域・3地域区分の夜間人口密度

10地域区分	H27人口密度(人/km <sup>2</sup> )	R02人口密度(人/km <sup>2</sup> )	増減数(万人)	3地域区分	H27人口(万人)	R02人口(万人)	増減数(万人)
さいたま	5,813	6,089	276	県南ゾーン	5,880	6,059	179
南部	9,226	9,495	269				
南西部	6,394	6,582	188				
東部	4,566	4,627	61	圏央道ゾーン	1,640	1,625	-15
県央	3,060	3,057	-3				
川越比企	1,277	1,267	-10				
西部	1,916	1,899	-16				
利根	1,365	1,341	-25	県北ゾーン	420	410	-11
北部	907	892	-15				
秩父	114	106	-8				
合計	1,913	1,934	21	合計	1,913	1,934	21

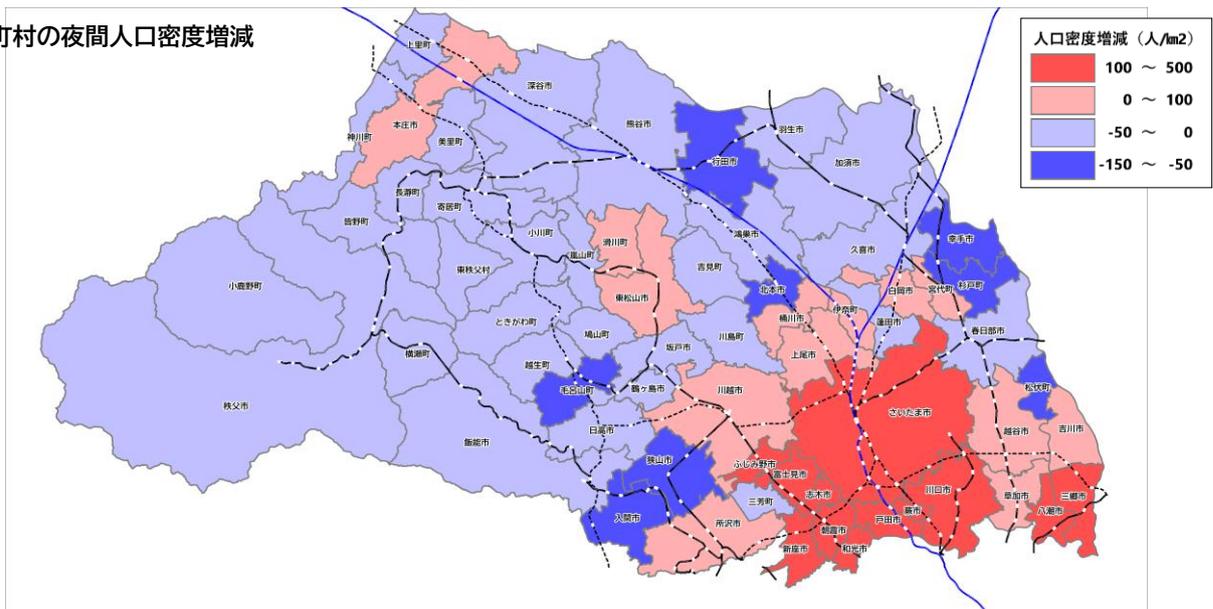
図 埼玉県内の夜間人口密度

市町村の夜間人口密度



出典：令和 2 年国勢調査

市町村の夜間人口密度増減

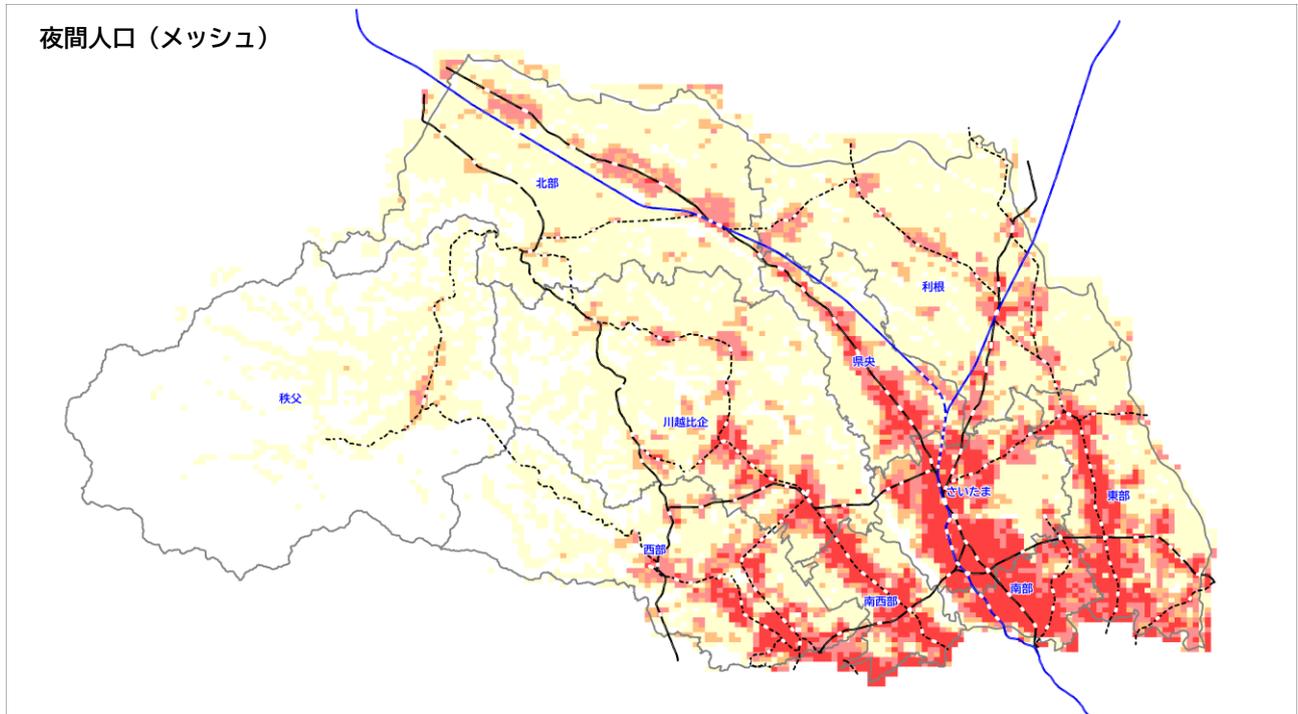


出典：平成 27 年、令和 2 年国勢調査

### (5) 夜間人口（メッシュ）

埼玉県内の4次メッシュ（500m×500m）の夜間人口を見ると、さいたま、南部、南西部、東部を中心に、鉄道沿線に人口が集中しています。

図 埼玉県内の夜間人口（メッシュ）



出典：令和2年国勢調査

## (6) 高齢者人口 (65 歳以上)

埼玉県内の市町村別の高齢者人口をみると、県の南部で高齢者人口が多くなっています。

埼玉県内 10 地域区分では、全ての地域で高齢者人口が増加しており、東部、川越比企、さいたま、西部、利根の順で増加人数が多くなっています。

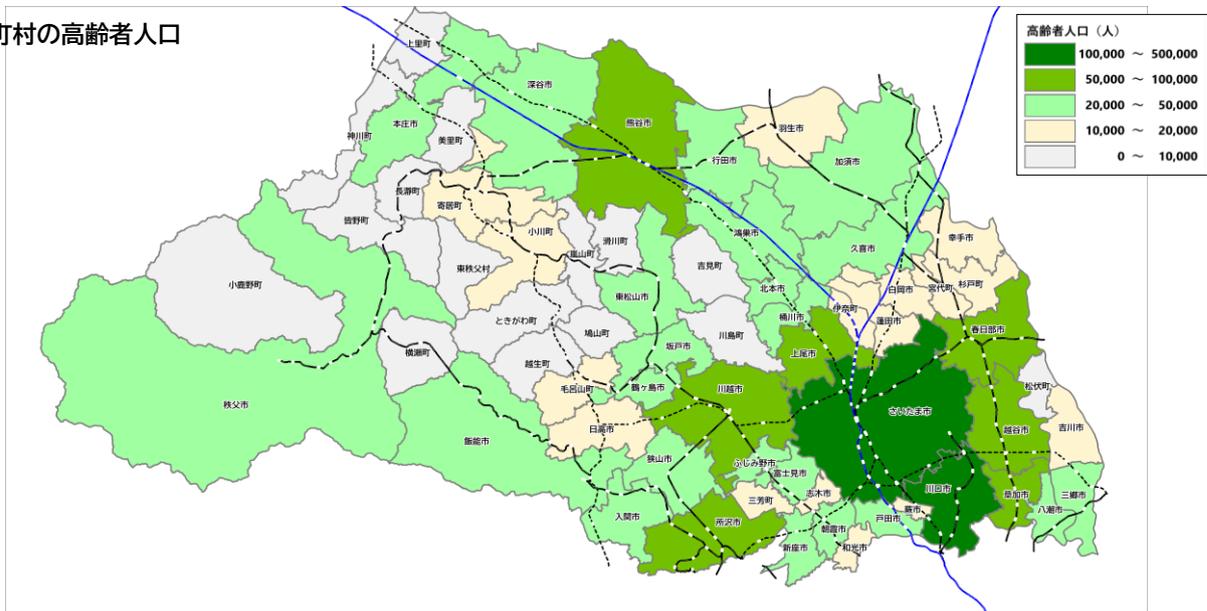
埼玉県内 3 地域区分では、圏央道ゾーンの高齢者人口の増加数が最も多くなっています。

県内10地域・3地域区分の高齢者人口

10地域区分	H27高齢者人口(万人)	R02高齢者人口(万人)	増減数(万人)	3地域区分	H27高齢者人口(万人)	R02高齢者人口(万人)	増減数(万人)
さいたま	28.8	31.3	2.5	県南ゾーン	90.1	97.8	7.6
南部	17.0	18.1	1.1				
南西部	16.0	17.4	1.4				
東部	28.3	31.0	2.7	圏央道ゾーン	73.5	82.3	8.8
県央	13.7	15.3	1.6				
川越比企	21.1	23.8	2.7				
西部	20.8	23.2	2.4				
利根	17.8	19.9	2.1	県北ゾーン	16.8	18.3	1.6
北部	13.5	15.0	1.4				
秩父	3.2	3.4	0.2				
合計	180.3	198.4	18.1	合計	180.3	198.4	18.1

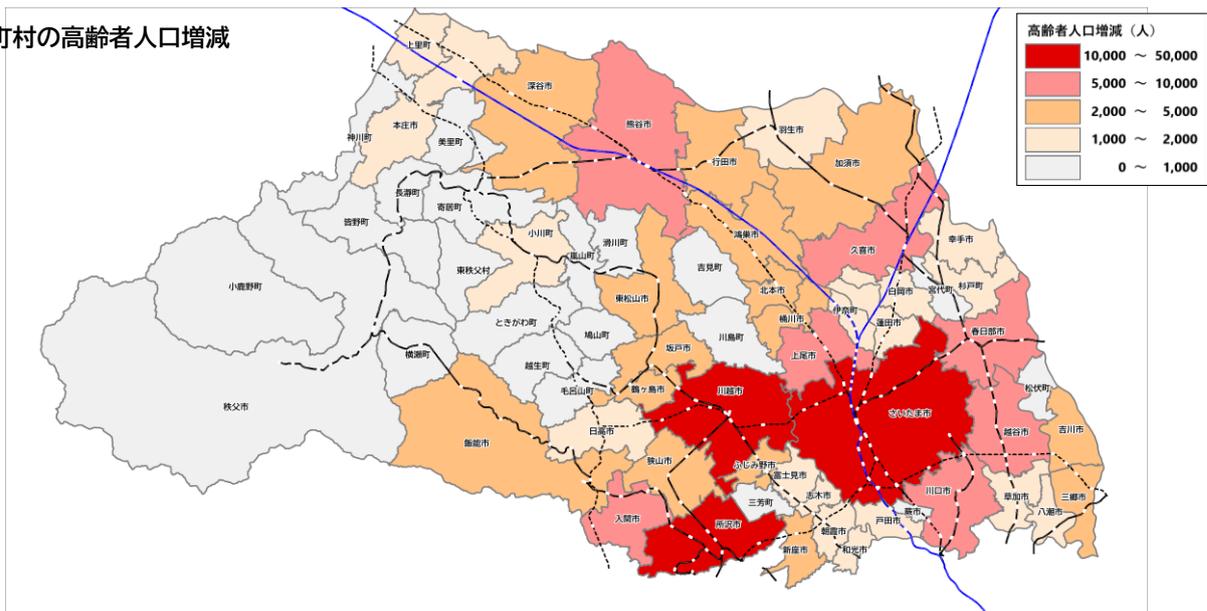
図 埼玉県内の高齢者人口

市町村の高齢者人口



出典：令和 2 年国勢調査

市町村の高齢者人口増減



出典：平成 27 年、令和 2 年国勢調査

## (7) 高齢化率

埼玉県内の市町村別の高齢化率をみると、県の北部ほど高くなっています。

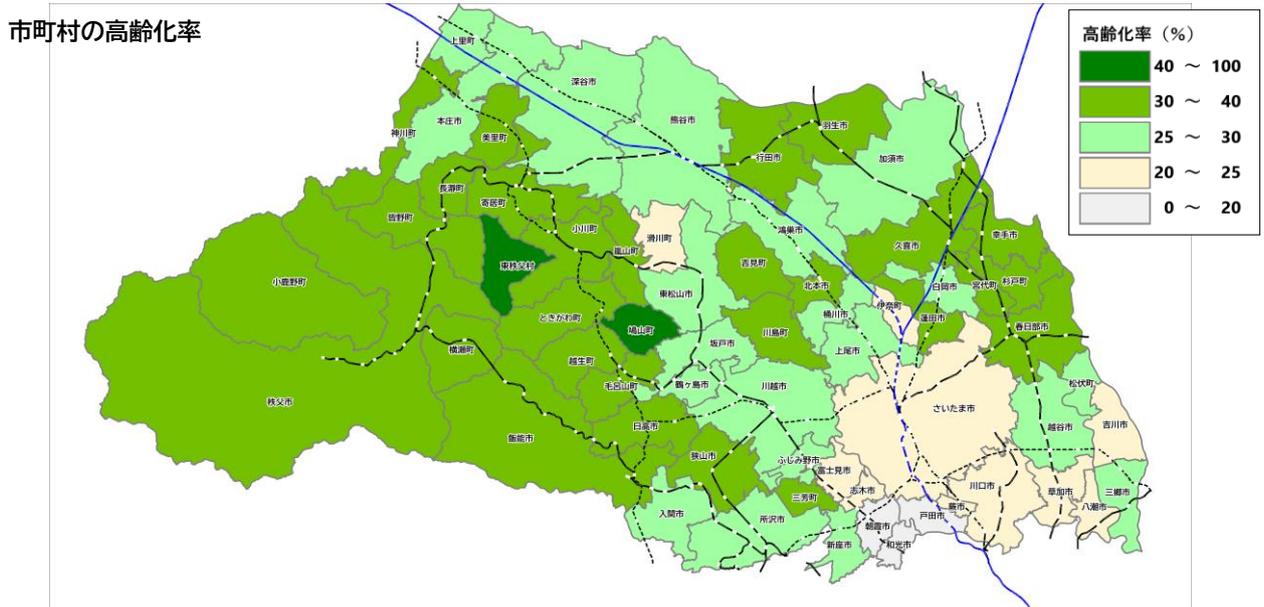
埼玉県内 10 地域区分では、秩父や利根で 4 ポイント近く上昇している一方で、さいたまや南部では 1 ポイント未満の上昇となっています。

埼玉県内 3 地域区分では、圏央道ゾーンと県北ゾーンで 3.5 ポイント程度増加しています。

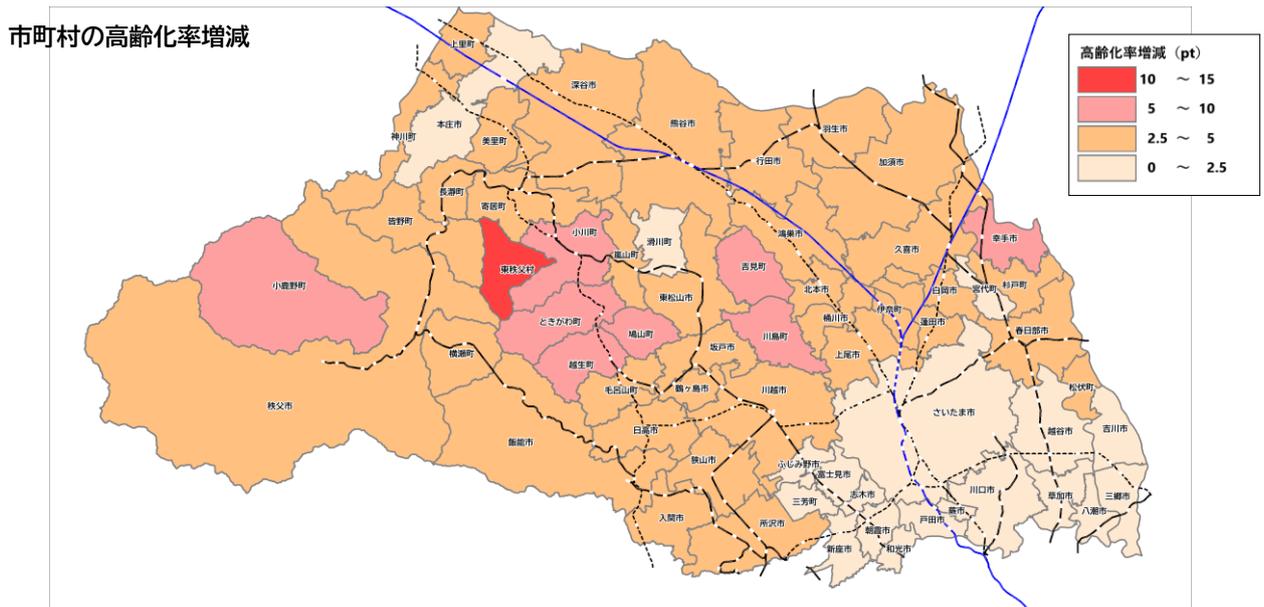
県内10地域・3地域区分の高齢化率

10地域区分	H27高齢化率 (%)	R02高齢化率 (%)	増減数	3地域区分	H27高齢化率 (%)	R02高齢化率 (%)	増減数
さいたま	22.8	23.6	0.8	県南ゾーン	23.1	24.3	1.2
南部	21.6	22.4	0.8				
南西部	22.6	23.8	1.2				
東部	24.8	26.8	2.0				
県央	26.0	29.0	3.1	圏央道ゾーン	26.7	30.1	3.5
川越比企	26.4	29.9	3.6				
西部	26.8	30.1	3.3				
利根	27.5	31.4	3.9				
北部	26.5	29.9	3.3	県北ゾーン	27.4	30.8	3.4
秩父	31.6	35.6	3.9				
合計	24.8	27.0	2.2	合計	24.8	27.0	2.2

図 埼玉県内の高齢化率



出典：令和 2 年国勢調査



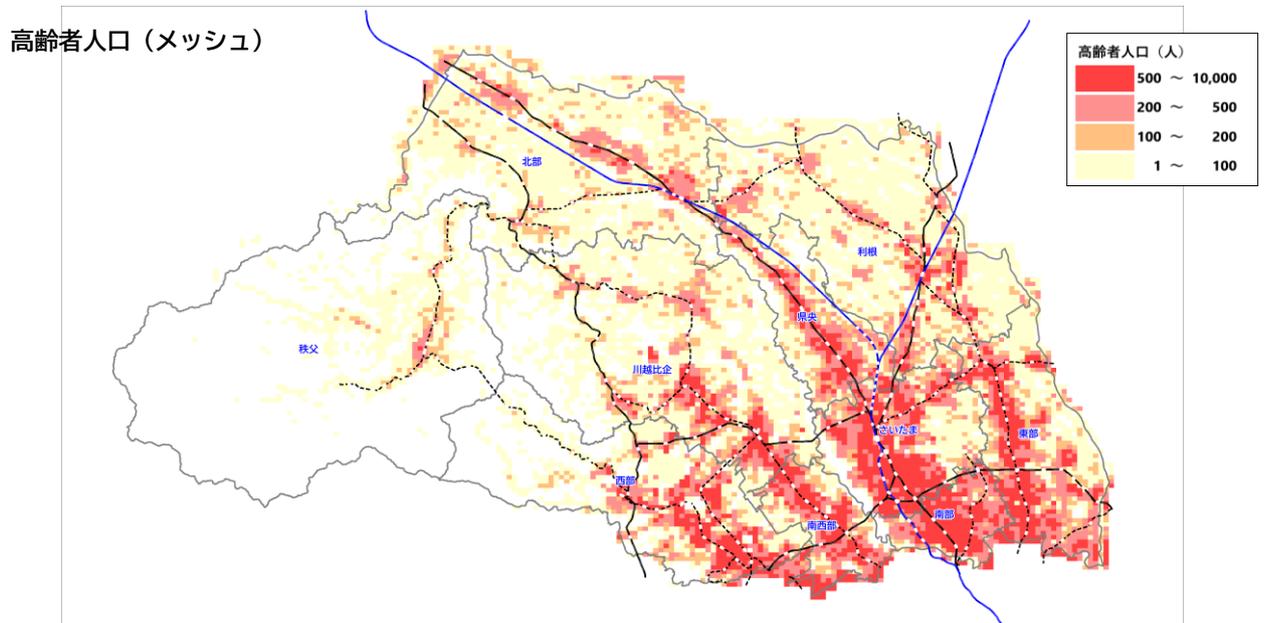
出典：平成 27 年、令和 2 年国勢調査

## (8) 高齢者人口・高齢化率（メッシュ）

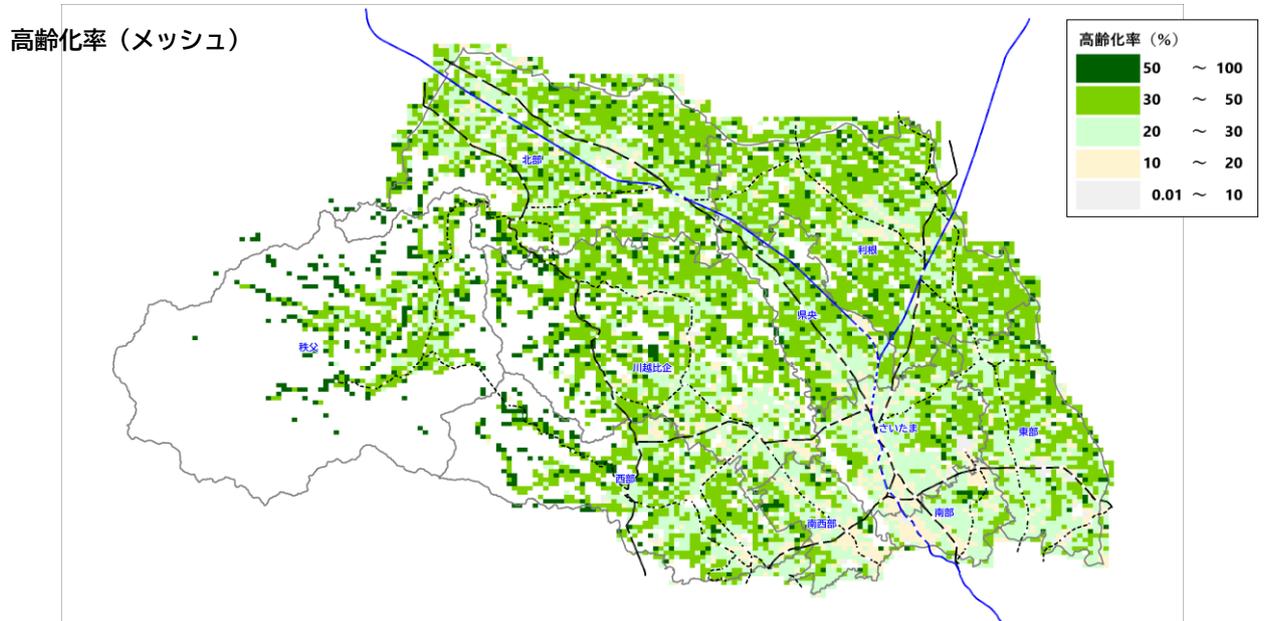
夜間人口メッシュと同様に、埼玉県内の4次メッシュ（500m×500m）の高齢者人口を見ると、さいたま、南部、南西部、東部を中心に、鉄道沿線に高齢者が集中しています。

高齢化率が高い場所が多いのは、北部、秩父、川越比企、西部などで、これらのエリアでは鉄道沿線のみならず、沿線から離れた地域でも高齢化率が高くなっています。

図 埼玉県内の高齢者人口、高齢化率（メッシュ）



出典：令和2年国勢調査



出典：令和2年国勢調査

(9) 生産年齢人口（15～64歳）

埼玉県内の市町村別の生産年齢人口の増減をみると、増加している市町村は限定的で県南ゾーンに集中しています。

埼玉県内 10 地域区分では、さいたま・南部・南西部のみで増加しており、それ以外の 7 地域では減少しています。

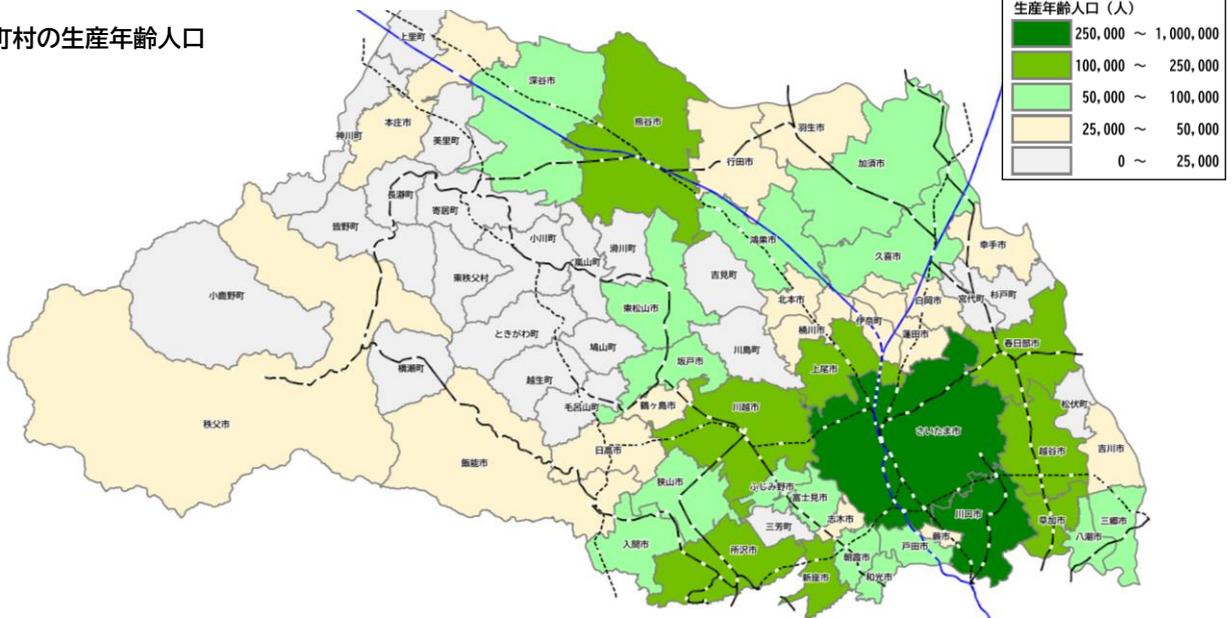
埼玉県内 3 地域区分では、県南ゾーンでは増加、圏央道ゾーン・県北ゾーンでは減少しており、特に圏央道ゾーンの減少が大きくなっています。

県内10地域・3地域区分の生産年齢人口

10地域区分	H27生産年齢人口(万人)	R02生産年齢人口(万人)	増減数(万人)	3地域区分	H27生産年齢人口(万人)	R02生産年齢人口(万人)	増減数(万人)
さいたま	81.1	84.2	3.2	県南ゾーン	249.0	253.9	4.9
南部	51.4	52.8	1.4				
南西部	45.3	46.2	0.9				
東部	71.2	70.6	-0.5	圏央道ゾーン	169.0	160.4	-8.6
県央	32.5	31.4	-1.1				
川越比企	49.3	46.9	-2.5				
西部	47.8	45.4	-2.4				
利根	39.4	36.7	-2.7	県北ゾーン	37.0	34.6	-2.4
北部	31.2	29.5	-1.8				
秩父	5.7	5.1	-0.7				
合計	454.9	448.8	-6.1	合計	454.9	448.8	-6.1

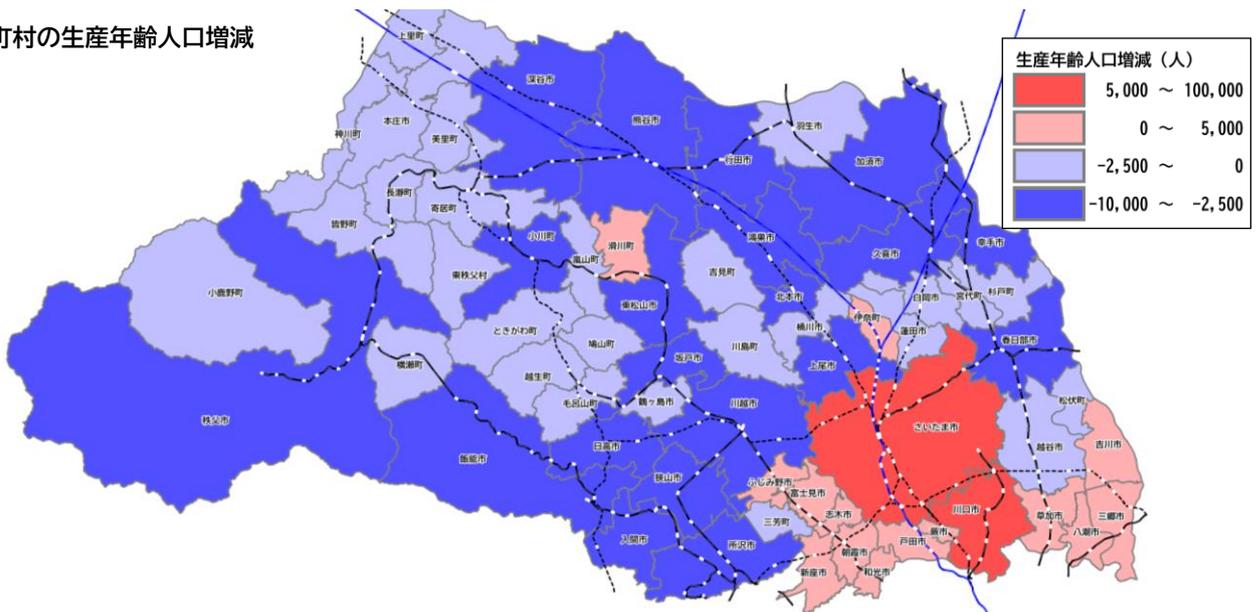
図 埼玉県内の生産年齢人口

市町村の生産年齢人口



出典：令和2年国勢調査

市町村の生産年齢人口増減



出典：平成27年、令和2年国勢調査

## (10) 昼間人口

埼玉県内の市町村別の昼間人口をみると、県の南部で多くなっています。

自治体ごとには昼間人口比率が100%を超えている(夜間人口よりも昼間人口の方が多い)ところもありますが、多くの自治体では100%に達していません。

埼玉県内10地域区分では、昼間人口比率が100%を超えている地域はありませんが、北部や秩父、川越比企、さいたまなどで90%を超えています。

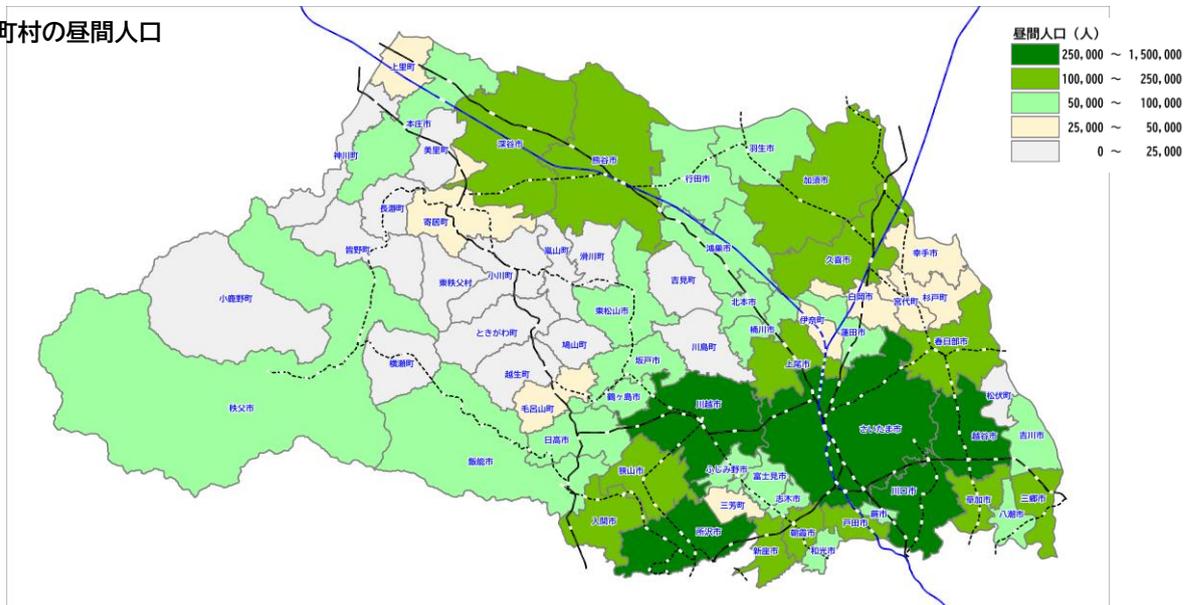
埼玉県内3地域区分では、圏央道ゾーンの昼間人口比率が90%を超えています。

県内10地域・3地域区分の昼間人口比率

10地域区分	夜間人口(万人)	昼間人口(万人)	人口差(万人)	人口比(昼/夜)	3地域区分	夜間人口(万人)	昼間人口(万人)	人口差(万人)	人口比(昼/夜)
さいたま	132.4	120.4	-12.0	91%	県南ゾーン	401.9	341.3	-60.6	85%
南部	80.9	64.8	-16.2	80%					
南西部	73.0	59.3	-13.7	81%					
東部	115.5	96.8	-18.7	84%					
県央	52.9	43.6	-9.2	83%	圏央道ゾーン	272.9	244.8	-28.1	90%
川越比企	79.4	75.0	-4.4	94%					
西部	77.2	68.6	-8.5	89%					
利根	63.5	57.6	-6.0	91%					
北部	50.1	48.5	-1.7	97%	県北ゾーン	794.1	700.8	-93.2	88%
秩父	9.5	8.9	-0.6	94%					
合計	734.5	643.5	-91.0	88%					

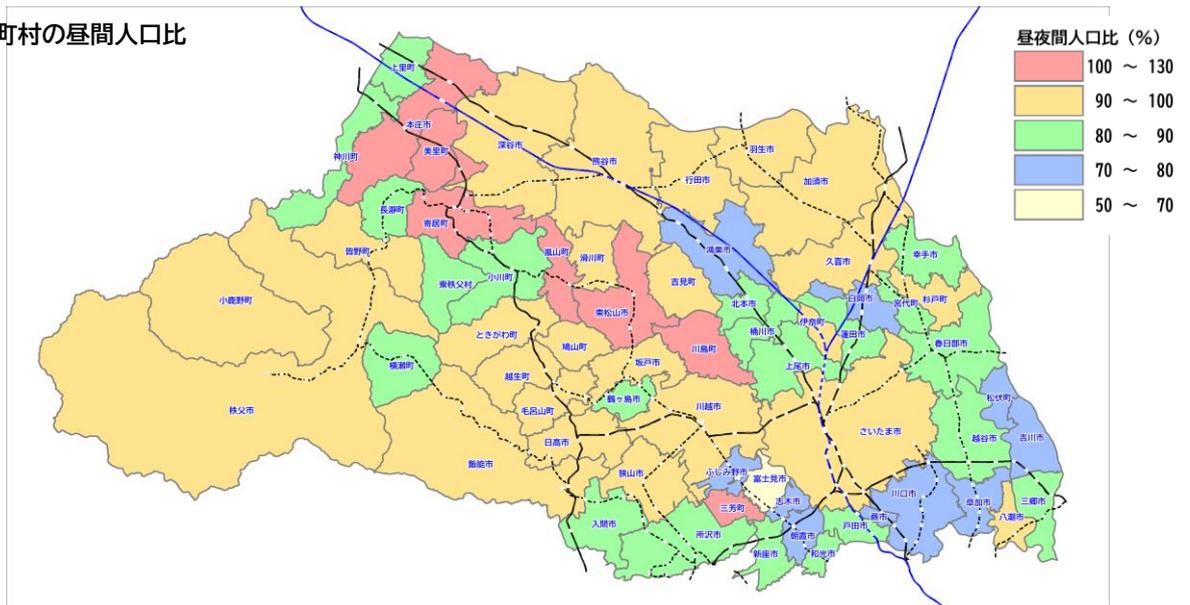
図 埼玉県内の昼間人口

市区町村の昼間人口



出典：令和2年国勢調査

市区町村の昼間人口比



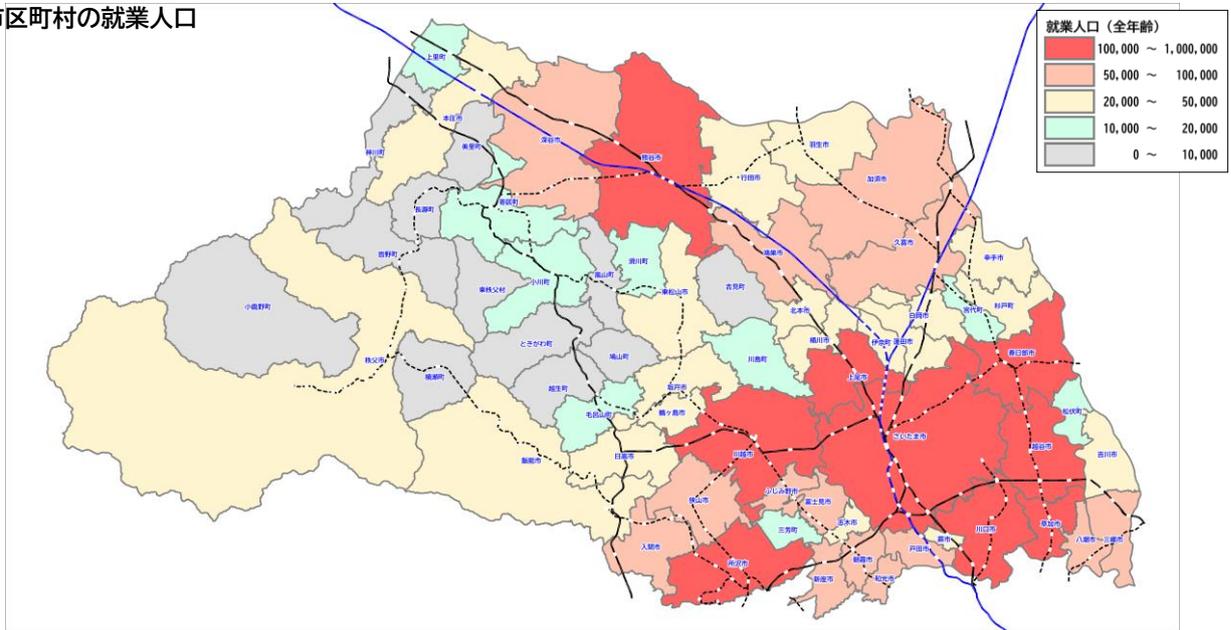
出典：令和2年国勢調査

# (11) 就業人口

埼玉県内の市町村別の就業人口をみると、県の南部に就業人口が多い自治体が多くなっています。埼玉県内10地域区分では、さいたま、南部、南西部、東部で就業人口が増加しています。埼玉県内3地域区分では、県南ゾーンでの就業人口が増加し、圏央道ゾーンでは減少しています。

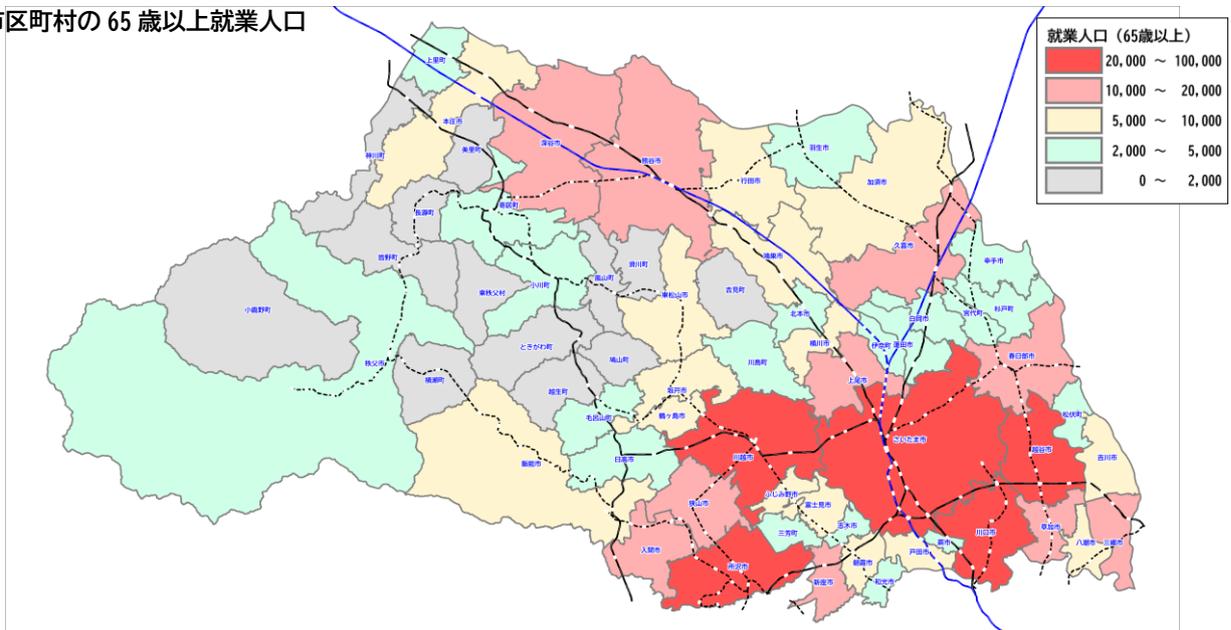
図 埼玉県内の就業人口

市区町村の就業人口



出典：令和2年国勢調査

市区町村の65歳以上就業人口



出典：平成27年、令和2年国勢調査

県内10地域・3地域区分の就業人口

10地域区分	H27就業者 (万人)	R02就業者 (万人)	増減数 (万人)	3地域区分	H27就業者 (万人)	R02就業者 (万人)	増減数 (万人)
さいたま	64.1	70.4	6.3	県南ゾーン	203.1	217.9	14.8
南部	42.4	45.6	3.2				
南西部	37.6	40.1	2.5				
東部	59.1	61.9	2.8				
県央	26.4	26.7	0.3	圏央道ゾーン	137.8	134.6	-3.2
川越比企	40.0	38.1	-1.9				
西部	38.9	37.2	-1.7				
利根	32.5	32.6	0.1				
北部	25.8	26.0	0.2	県北ゾーン	30.7	30.7	0.0
秩父	4.8	4.7	-0.2				
合計	371.6	383.2	11.6	合計	371.6	383.2	11.6

県内10地域・3地域区分の就業人口 (65歳以上)

10地域区分	H27就業者 (万人)	R02就業者 (万人)	増減数 (万人)	3地域区分	H27就業者 (万人)	R02就業者 (万人)	増減数 (万人)
さいたま	6.3	7.6	1.3	県南ゾーン	22.1	26.1	4.0
南部	4.5	5.3	0.8				
南西部	4.1	4.7	0.6				
東部	7.2	8.5	1.3				
県央	3.0	3.7	0.6	圏央道ゾーン	16.9	20.1	3.3
川越比企	5.0	5.9	0.9				
西部	4.6	5.4	0.8				
利根	4.2	5.1	1.0				
北部	3.2	4.0	0.7	県北ゾーン	3.9	4.8	0.9
秩父	0.7	0.8	0.1				
合計	42.9	51.0	8.1	合計	42.9	51.0	8.1

## (12) 従業人口

埼玉県内の市町村別の従業人口をみると、県の南部が多くなっています。

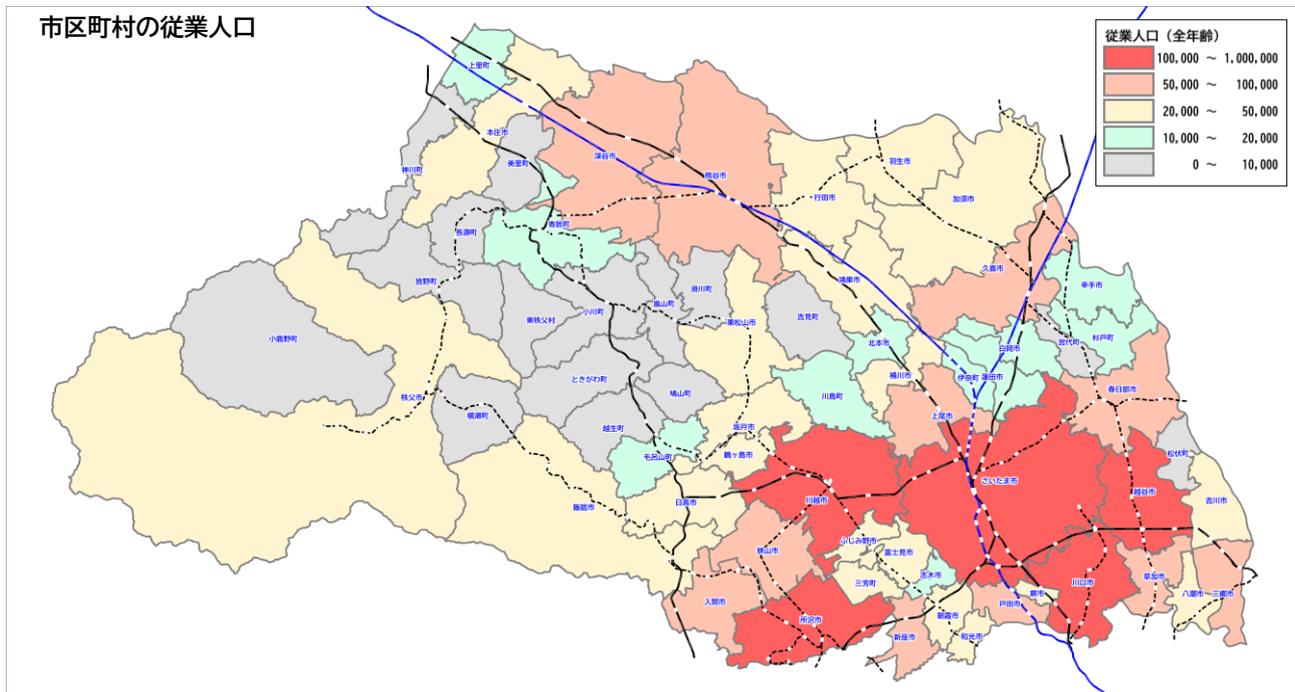
埼玉県内 10 地域区分では、さいたま、南部、南西部、東部などの従業人口が増加し、県央、川越比企、西部などの従業人口が減少しています。

埼玉県内 3 地域区分では、県南ゾーン、県北ゾーンの従業人口が増加し、圏央道ゾーンの従業人口が減少しています。

県内10地域・3地域区分の従業人口

10地域区分	H28従業者 (万人)	R03従業者 (万人)	増減数 (万人)	3地域区分	H28従業者 (万人)	R03従業者 (万人)	増減数 (万人)
さいたま	50.9	51.7	0.8	県南 ゾーン	136.7	139.4	2.7
南部	26.8	26.8	0.0				
南西部	21.7	22.6	1.0				
東部	37.3	38.3	0.9				
県央	15.8	15.6	-0.2	圏央道 ゾーン	96.0	95.3	-0.7
川越比企	30.3	30.2	-0.1				
西部	27.0	26.6	-0.4				
利根	22.8	23.0	0.1				
北部	20.9	21.7	0.8	県北 ゾーン	24.9	25.4	0.6
秩父	4.0	3.8	-0.2				
合計	257.6	260.2	2.6	合計	257.6	260.2	2.6

図 埼玉県内の従業人口



出典：令和3年経済センサス活動調査